

## 2005年度連結決算、経常利益 11.1%増

売上高、当期純利益は過去最高

横浜ゴム(株)(社長:南雲忠信)の2005年度(2005年4月1日~2006年3月31日)の連結決算は、売上高が過去最高となり前期比7.7%増の4,519億円、営業利益が同4.7%増の219億円、経常利益が同11.1%増の190億円となった。原材料価格高騰の影響があったものの、タイヤの販売増やコストダウンなどで吸収した。為替が前期に比べ円安に振れたことも寄与した。当期純利益は、確定拠出年金制度の導入に伴い特別利益43億円が発生したことに加え、過年度に処理した北米子会社の株式評価損による税効果で同89.4%増の214億円となった。期末配当については一株当たり6円とし、中間配当金4円とあわせ、年間で一株当たり2円増配の10円を予定。

タイヤ事業の売上高は前期比9.1%増の3,357億円。大雪の影響でスノータイヤが大幅な販売増となり国内が伸びたうえ、北米を中心に海外販売が好調だった。営業利益は原材料価格の高騰などにより同0.4%減の181億円となった。MB事業は売上高が同3.8%増の1,161億円。ゴルフ用品が伸び悩んだものの、高圧ホース、シーリング材、航空部品などが売り上げを伸ばした。営業利益は同41.9%増の39億円で大幅な増益。売り上げ増に加え、航空部品と工業資材の収益改善が大きく寄与した。

2006年度通期の売上高は4,850億円(前期比7.3%増)の見通したが、原材料価格がさらに高騰すると予想され、営業利益は210億円(同4.3%減)、経常利益は160億円(同15.9%減)、当期純利益は105億円(同51.0%減)を見込む。

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム(株) 広報部 担当: 木下 池田  
TEL: 03-5400-4531 FAX: 03-3432-8430

## 決算ハイライト

(百万円)

	2005年度	2004年度	2003年度
売上高	451,911	419,789	401,718
営業利益	21,947	20,955	21,073
経常利益	19,015	17,114	17,258
当期純利益	21,447	11,322	10,331
減価償却費	20,491	19,616	19,199
設備投資額	29,067	27,533	23,735
株主資本	170,675	136,312	127,832
総資産	502,014	432,717	429,350
有利子負債	163,021	151,757	159,700
営業活動によるキャッシュフロー	31,860	33,609	25,892
投資活動によるキャッシュフロー	(29,184)	(24,237)	(21,234)
財務活動によるキャッシュフロー	(3,113)	(12,007)	(4,749)
現金及び現金同等物の期末残高	14,289	13,836	16,473
一株当たり(円):			
当期純利益	62.65	32.95	29.95
配当金	10.00	8.00	8.00

### 事業別

(百万円)

	2005年度	2004年度	2003年度
外部顧客に対する売上高			
タイヤ	335,734	307,860	288,629
MB	116,177	111,928	113,089
営業利益			
タイヤ	18,109	18,177	15,280
MB	3,941	2,777	5,759
消去または全社	(102)	0	33

### 所在地別

外部顧客に対する売上高			
日本	348,666	329,282	319,152
北米	82,186	72,085	67,078
その他	21,059	18,421	15,488
営業利益			
日本	19,622	17,336	18,966
北米	2,561	2,105	1,132
その他	241	1,079	799
消去または全社	(478)	434	175

(注1)所在地別の北米は米国及びカナダ。その他は欧州、大洋州、アジア